小牧市橋梁長寿命化修繕計画

中央道１号橋

平成 26 年 3 月

（最終改訂　令和 7 年 5 月）

小牧市 建設部 道路課

目　次

１　長寿命化修繕計画の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
(1)　背景 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
(2)　目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
(3)　方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　計画対象の橋梁数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
(2)　橋梁の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
(3)　橋梁の年齢 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・5
(1)　健全度の把握に関する基本的方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
(2)　日常的な維持管理に関する基本的方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
４　対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する
基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
５　修繕計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
６　長寿命化修繕計画による効果・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
７　コスト縮減の方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(1)　新技術の活用とコスト縮減の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
1)　橋梁修繕の新技術 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
2)　橋梁点検の新技術 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
(2)　集約化・撤去によるコスト縮減の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
８　計画策定担当部署 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
(1)　計画策定担当部署・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
９　年次計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

１　長寿命化修繕計画の目的

(1)　背景

国土交通省では、地方自治体が管理している 13 万箇所を超える道路橋の老朽化等に伴う損傷の早期発見とその補修を行うため、平成 19 年度に「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」を創設した。この制度は「長寿命化修繕計画」の策定に要する費用の一部を国が補助するもので、これまでの事後的な修繕・架替えから、今後は予防的修繕および計画的架替えへと政策転換を促すことを目的としている。

全国的に見て、建設後相当の期間を経過した橋梁を含む社会資本は増大する傾向にあり、老朽化に伴う障害事例が見られる。

愛知県においても、平成 17 年度に「社会資本長寿命化基本計画」を策定し、予防的修繕に取り組むため、平成 19 年度から全橋梁の点検を実施し、平成 24 年度に計画を策定している。

小牧市の橋梁は、高度経済成長期以降に整備されたものが多く、今後、高齢化の進行が予想される。こうした状況の下、今までのような事後的な修繕および架替えでは更新コストが増大し、市の財政状況が厳しくなり社会資本関連の予算が削減されつつある昨今の状況では、適切な維持管理の継続に振り分ける予算の確保が困難となる可能性がある。

(2)　目的

上記の背景のもと、今後急速に増大する高齢化した橋梁の維持管理に対応するため、従来型の事後的な修繕・架替えから予防的な修繕・計画的な架替えへと円滑な政策転換を図る必要がある。

このため、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替えにかかるコストの縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とした。

(3)　方針

長寿命化修繕計画は、橋梁定期点検結果を基礎データとして用いて立案する。計画は、重要な橋梁から優先的に実施するのが望ましいため、予防保全計画対象の橋梁を選定する必要がある。

予防保全計画の対象となる橋梁は以下の条件で選定した。

①国道、県道、高速道路、鉄道及び避難路を跨ぐ橋梁
②橋長 10m 以上の市内緊急輸送道路、避難路及び 1,2 級市道、県道降格路線に指定した橋梁
③橋長 15m 以上の河川に架かる橋梁

※上記以外の橋長２m以上の管理橋梁については、別添の年次計画に基づき近接目視による点検と健全性の診断を実施し、必要に応じて予防的な修繕に努める。

計算処理にあたっては、愛知県の橋梁アセットマネジメントシステムを利用して、今後 100 年間のライフサイクルコストが最小となるように計画した。

２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）

(1)　計画対象の橋梁数

小牧市が管理する橋梁は 512 橋あり、そのうち予防保全計画対象の橋梁は 109 橋である。

表-2.1　計画対象橋梁数

全管理橋梁数	512 橋
長寿命化修繕計画対象橋梁	512 橋
うち予防保全計画の対象橋梁数	109 橋
うち計画策定済橋梁数	57 橋
うち R7 計画策定橋梁数	30 橋

(2)　橋梁の構成

長寿命化修繕計画策定橋梁 512 橋の橋種別橋梁割合は以下のとおりであり、鋼橋が 12.3%、RC 橋が 50.0%、PC 橋が 36.1%、その他が 1.6%となっている。

表-2.2　橋種別の橋梁数・総橋長

橋種	橋梁数	総橋長
鋼橋	63 橋	980.43 m
RC 橋	256 橋	1,223.80 m
PC 橋	185 橋	2,476.30 m
その他	8 橋	72.72 m
計	512 橋	4,753.25 m

図-2.1　橋種別の橋梁割合

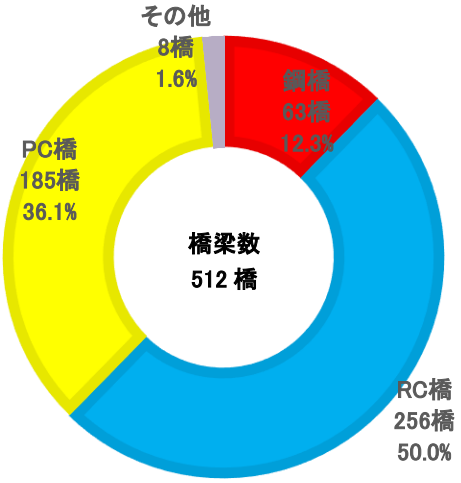
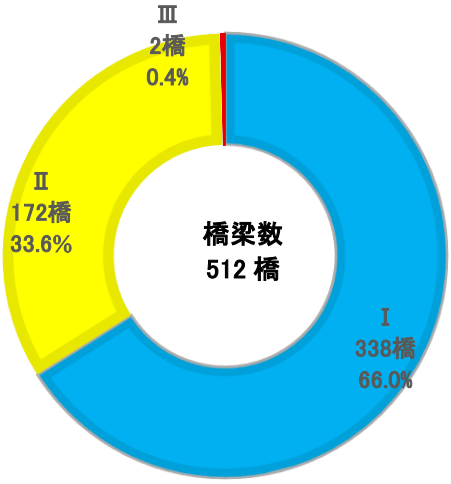


表-2.3　健全性別の橋梁数

健全性区分	橋梁数
Ⅰ	338 橋
Ⅱ	172 橋
Ⅲ	2 橋
計	512 橋

図-2.3　健全性区分割合



(3)　橋梁の年齢

長寿命化修繕計画対象橋梁の供用開始年度別橋梁数は下図のとおりである。現時点では、架設後 50 年以上経過した橋梁は 267 橋（52.1%）であるが、10 年後には 423 橋（82.6%）、20 年後には 479 橋（93.6%）と増加する。

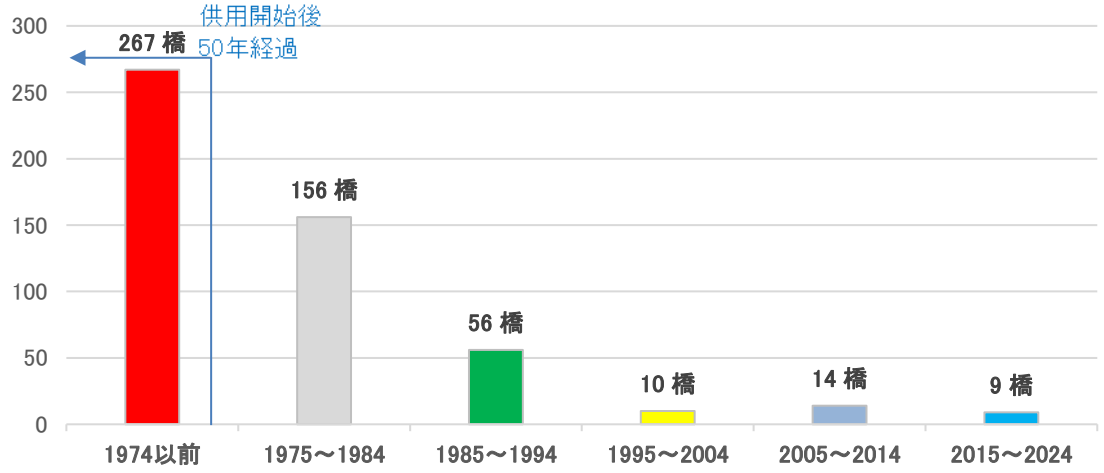


図-2.3　供用開始年度別の橋梁数

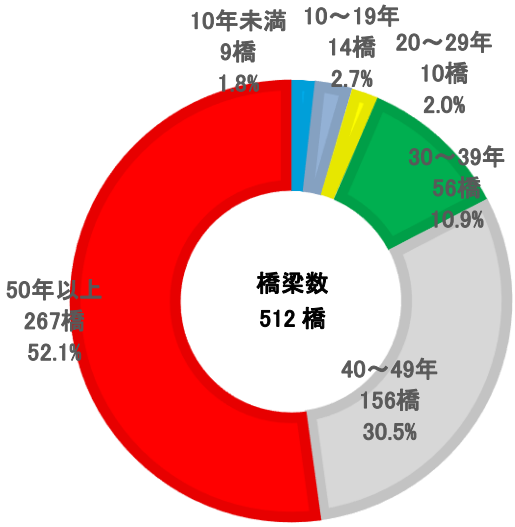


図-2.4　現在の年齢別橋梁割合

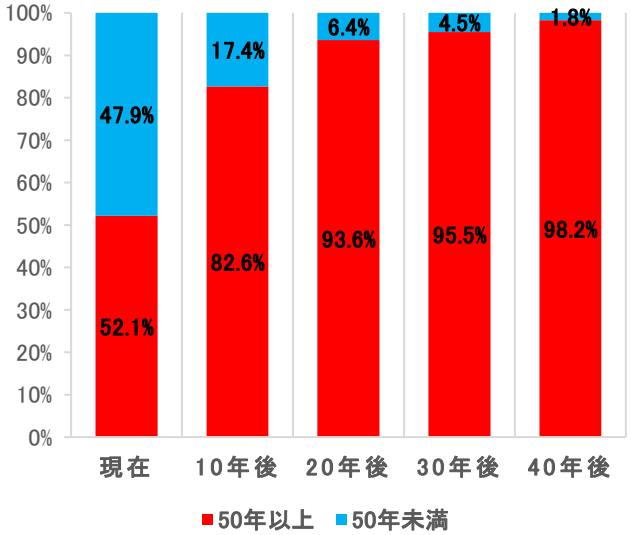


図-2.5　供用開始後 50 年以上の橋梁割合推移

３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1)　健全度の把握に関する基本的方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度・構造や立地条件等を十分に考慮して点検計画を立て、5 年に 1 回の定期点検を実施する。定期点検においては、国土交通省の「道路橋定期点検要領」又は、愛知県建設局道路維持課の「橋梁定期点検要領」に基づいて実施し、橋梁の損傷を早期に把握するよう心掛ける。

道路橋定期点検要領及び橋梁定期点検要領では、部材単位で細かく点検し、損傷の程度等に基づき対策の必要性を判定している。

損傷が発見された橋梁については市職員が現地を確認し、道路の安全管理に万全を期す。また、日頃から維持管理の技術向上に努める。

1)　健全性の判定

定期点検における部材ごとの損傷度の判定は、表-3.1 及び図-3.1 により行うこととする。

表-3.1　定期点検における橋梁の対策の必要性

区分	内　容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応する必要がある。
S1	詳細調査の必要がある。
S2	追跡調査の必要がある。

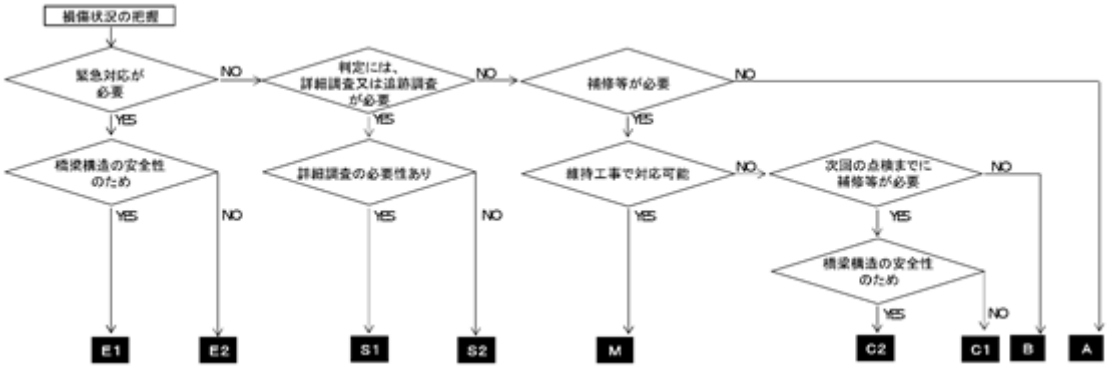


図-3.1　対策区分の判定の流れ

2） 健全性の判定

定期点検における部材ごとの健全性の判定は、表-3.2により、また、健全性と対策区分の関係性は、図-3.2に示すような状態とした。

表-3.2　定期点検における健全性の判定

区　　分		定　　義
Ⅰ	健　　全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

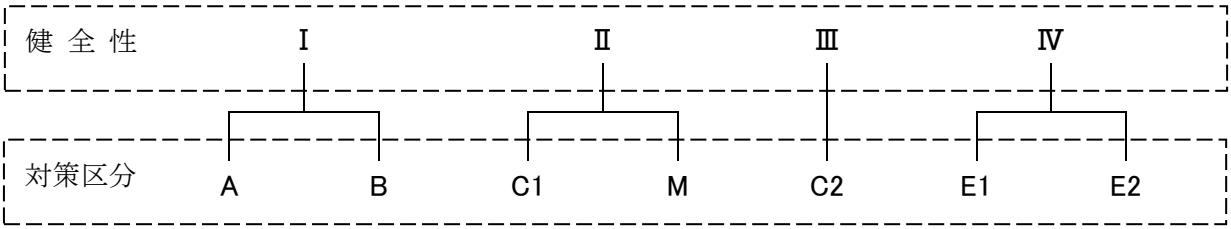


図-3.2 健全性と対策区分の関係性

写真-3.1 専門業者による点検状況①

写真-3.2 専門業者による点検状況②

(2)　日常的な維持管理に関する基本的方針

橋梁の保全を図るため、日常的な点検として道路パトロールを実施する。

道路パトロールでは、パトロール車で走行しながら目視点検を行い、異常が疑われる箇所については徒歩による目視点検を行う。

道路パトロールの作業フローを以下に示す。

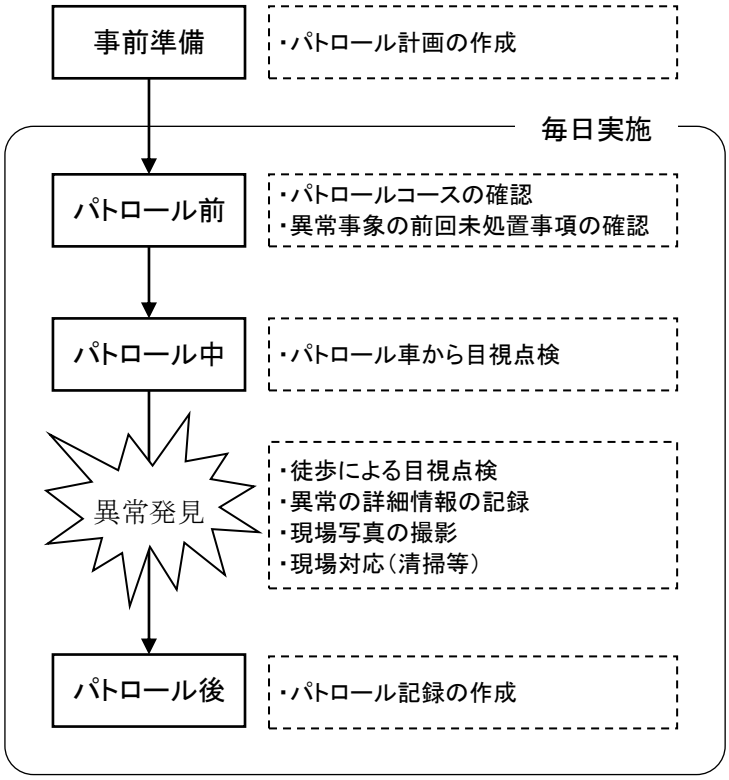


図-3.3　道路パトロール実施フロー

異常を発見した際、道路上の落下物等、現場において対応が可能であるものについてはその場で対応する。具体例として、排水の目詰まりや土砂堆積等を発見した際には必要に応じて堆積土砂の除去等を実施する。

道路パトロールにおける橋梁に関する目視点検項目を下表に示す。

表-3.3　橋梁に関する点検項目

点検項目	確認内容
破損	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
腐食	
剥離	
鉄筋露出	
ボルト外れ・ゆるみ	個数
落書き	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
接合部の段差	
土砂堆積	
排水不良	個数
その他	

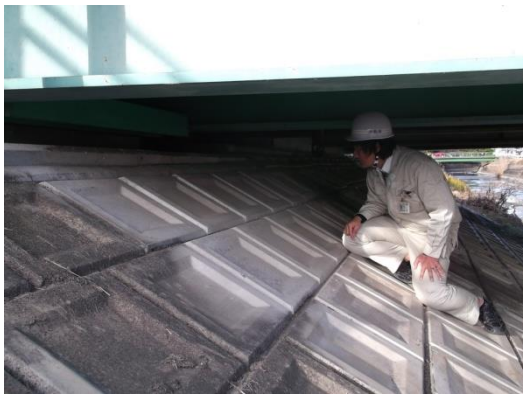
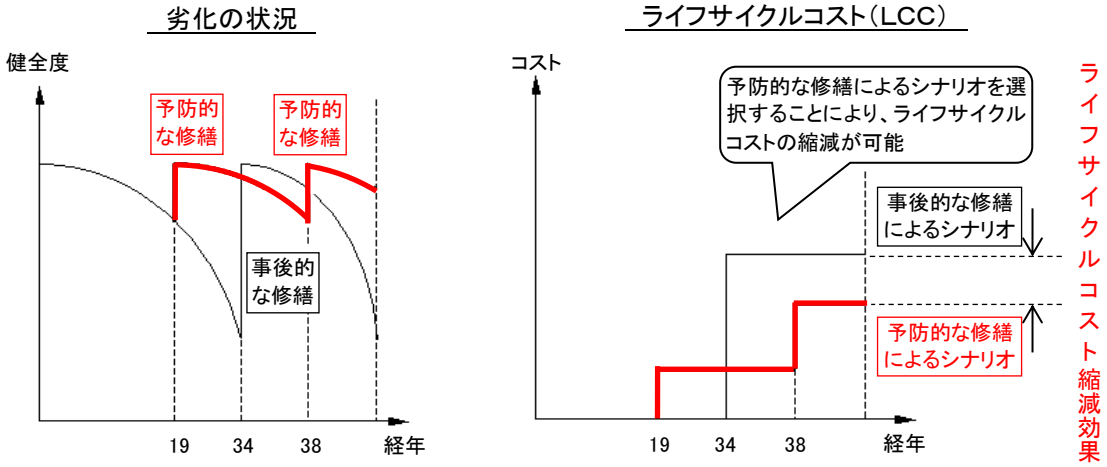


写真-3.3 職員による点検状況①

写真-3.4 職員による点検状況②

４　対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

日常の道路パトロールの中で清掃等を実施し、橋梁定期点検の中で損傷の度合いおよび対策の必要性を定めるとともに、従来の事後的な修繕から予防的な修繕等の実施へ移行し、コストが掛かる架替えを極力なくすことにより、橋梁の長寿命化を目指す。また、長寿命化を適切に計画することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化および高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）の縮減を図る。



修繕種別	工法（例）	実施サイクル
予防的な修繕	塗装塗替え（ふっ素）＋3 種ケレン Ａ	19 年毎
事後的な修繕	塗装塗替え（ふっ素）＋1 種ケレン＋当て板補修	34 年毎

図-4.1　ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）と劣化予測の関連イメージ

５　修繕計画の概要

今後 10 年間の長寿命化修繕計画を策定する。

計画策定橋梁 30 橋に対する長寿命化修繕計画の基本的な考え方は、愛知県の「社会資本長寿命化基本計画」を参考に以下のように設定した。

①　劣化予測

劣化予測は、「社会資本長寿命化基本計画」において諸元情報及び点検結果を基に類型化したグループ単位で統計的に分析された結果を用いた。

②　ＬＣＣ分析

将来的に発生する維持管理コスト、運営コスト、廃棄コスト、更新コスト等を踏まえた経済性の評価を行うことで、中長期的な視点からの戦略的管理計画を立案することを目的にＬＣＣ分析を行った。

ＬＣＣ分析は、

a)橋梁に著しい損傷が発生してから補修する場合（事後保全タイプ）

b)定期的に点検を実施し損傷が軽微なうちに補修する場合（予防保全タイプ）

の２タイプによりコスト比較を行った。

③　優先度判定

点検の結果、対策が必要と判断された損傷に対して、限られた予算で維持補修を行うには、優先度を付け工事計画を立案する必要がある。優先度の考え方を以下に示す。

- 主部材の損傷状況　主桁、床版等の主部材の損傷が著しい橋梁の修繕を優先
- 塗装系　劣化が早い塗装系の橋梁を優先
- 適用示方書　旧い基準が適用されている橋梁の修繕を優先
- 主桁の端部　劣化が早い主桁の端部の修繕を優先
- 大型車交通量　大型車交通量が多く、床版の疲労劣化の著しい橋梁の修繕を優先
- 重要路線　重要路線に位置する橋梁を優先

６　長寿命化修繕計画による効果

以上の長寿命化に係わる基本方針に基づき作成した今後 100 年間の長寿命化修繕計画の効果を以下に示す。

①　トータルコストの縮減効果

橋梁に著しい損傷が発生してから補修する場合（事後保全タイプの補修）、定期的に点検を実施し損傷が軽微なうちに補修する場合（予防保全タイプの補修）の２タイプのコスト比較を実施した。

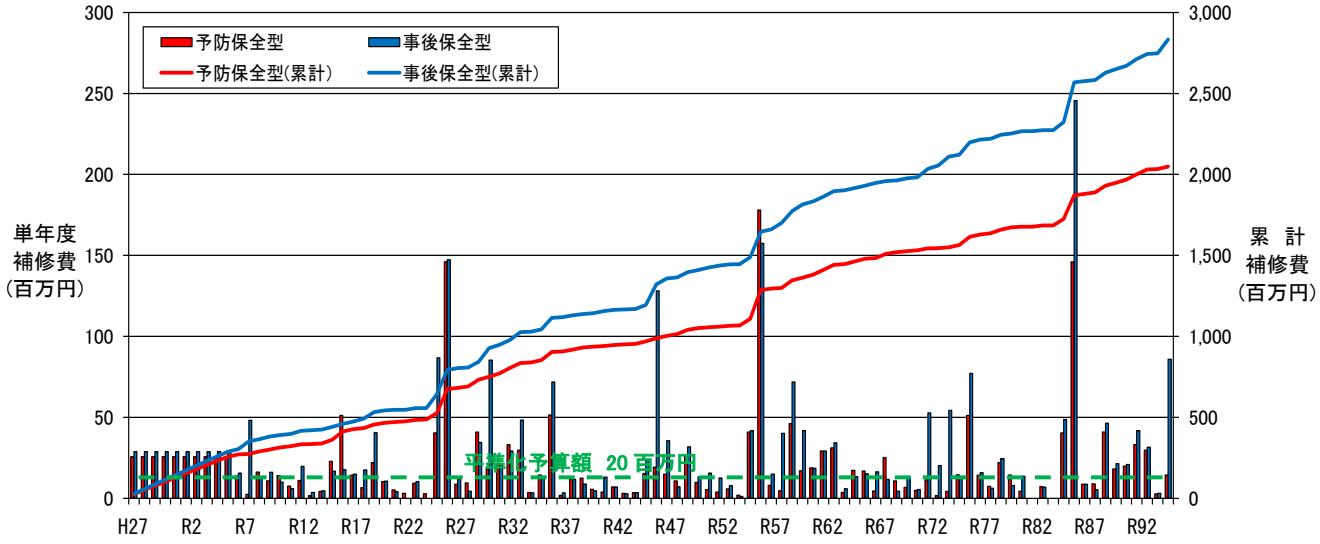
長寿命化修繕計画による効果は 90 橋※を対象とした場合、今後 100 年間の維持費（詳細設計費等を除く）は事後保全タイプの約 2,833 百万円から、予防保全タイプの約 2,048 百万円となり、約 785 百万円（約 27.7%）の縮減が見込まれる。

②　補修費を平準化した場合の年間予算額

90 橋※における今後 100 年間の予防保全タイプの補修費約 2,048 百万円を 100 年で単純に平準化した場合、約 20 百万円/年となる。

この補修費を全管理橋梁（519 橋※）で比例配分した場合、約 116 百万円/年の補修費が必要となる。

※平成 26 年計画策定時の橋梁数のため P4 に記載されている橋梁数とは異なる。



注）補修費に点検費は含まれていない。当初 10 年は単純に平準化している。
図は、平成 26 年次作成したものに、年次のみ修正した。

図-6.1　計画による効果

7　コスト縮減の方針

(1)　新技術の活用とコスト縮減の方針

小牧市では橋梁の点検や修繕の実施にあたり、開発された新技術を活用しライフサイクルコストを縮減する。

修繕工法の選定の際には、従来工法だけでなく NETIS などに登録されている新工法を積極的に採用する。また、工法選定時には初期コストの比較だけでなく、ライフサイクルコストの低減が可能な工法を選定する。

さらに、点検の効率化・合理化を目指し、近接目視を補完・代替えする点検支援技術に関して「新技術利用のガイドライン（案)」「点検支援技術性能カタログ（案)」を参考に橋梁点検の新技術を積極的に活用しコスト縮減する。

令和 16 年度までに管理する橋梁のうち、1 橋で新技術を活用した修繕を進め、従来技術を活用した修繕と比較して 300 万程度のコスト縮減を目指す。

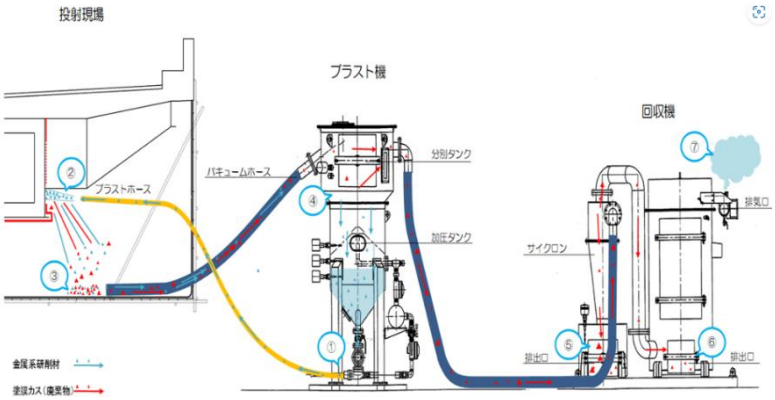
1)　橋梁修繕の新技術

①　コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテシリーズ」（ QS-150017-VE ）

超速硬ポリマーセメントモルタルまたはコンクリートにより、劣化損傷したコンクリート構造物の断面修復を行う技術で、従来は、超速硬コンクリートで対応していた。本技術の活用により、乾燥収縮が小さく、付着性・耐久性に優れた断面修復が可能となる。

②　循環式ハイブリッドブラストシステム（ QS-150032-VE ）

橋梁補修補強工等において、鋼構造物の素地調整(1 種ケレン)やコンクリート劣化部のチッピングを行う循環式機能付ブラスト工法で、従来は、エアーブラストで対応していた。本技術の活用により、ケレンかすから研削材を吸引再利用できるため、産業廃棄物の削減が可能となる。



③　浸透性吸水防止材「レジソーク Type1」（ CG-120004-VR ）

本技術はコンクリート表層部の組織を改質することで撥水効果が得られる。同時に表面からの水分、塩分等の浸入を防ぐことで、コンクリート構造物の塩害、凍害、中性化などによる劣化進行を抑制する。また、簡便な施工であり維持管理コストの低減が可能となる。

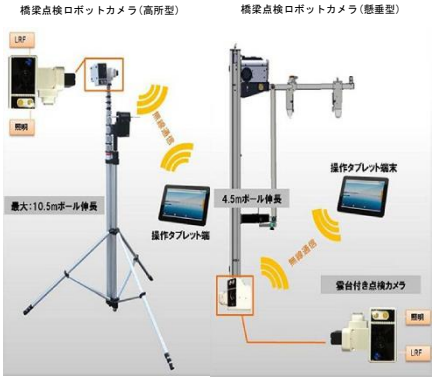
2)　橋梁点検の新技術

①　飛行型点検ロボット（ QS-180005-VR ）

橋梁などの構造物の点検を目的とし、マルチコプターの上部に搭載した駆動車輪と点検機構(カメラ、打撃機構)により、橋梁下面の点検面を走行しながら近接目視、打音検査などの点検を実施する点検ロボットである。

②　橋梁点検ロボットカメラ（ KT-160016-VE ）

本技術は橋梁等構造物に対し点検カメラをタブレット PC から遠隔操作することにより、点検、測定、映像記録採取を行うものであり、従来は橋梁点検車、高所作業車や足場を設置し目視で行っていた。本技術の活用により交通規制の軽減、省力化、作業員の安全性向上が図れる。



(2)　集約化・撤去によるコスト縮減の方針

小牧市では、第三者被害の可能性、交通量、地元の利便性、迂回路の存在、橋梁の損傷状況や劣化の進行性を考慮し、集約化・撤去の検討を行う。

令和 16 年度までに、管理する橋梁のうち 1 橋で 20 万円のコスト縮減を目指します。

８　計画策定担当部署

(1)　計画策定担当部署

小牧市 建設部 道路課　TEL：0568-76-1174

９　年次計画

以下に橋梁毎の年次計画（令和７年５月時点抜粋版）を示す。なお、全数分のものは別添に記載する。

R7.5時点

番号	市道番号	重要橋梁	国交省市道路線番号	道路構成	（フリガナ）	路線名	所在地	道路種別	架設年次	経過年数	橋長(m)	幅員(m)	橋種	構造	点検結果 R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	構造形式コード	補修計画	補修	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	修繕費(千円)
3	A002		0000-0323-00-0004	市内道路１号橋	ﾖﾅﾊﾞﾁﾊｼ(ﾋﾒﾉﾔﾏ)	市道大前西１号橋	小牧市大前字前田	市町村道	1981	45	2.00	6.13	RC橋	鉄筋コンクリート橋		○				○				04	E													
5	A003		0000-0323-00-0020	市内道路４号橋	ﾖﾅﾊﾞﾁﾊｼ(ﾋﾒﾉﾔﾏ)	市道大前西４号橋	小牧市大前字前田	市町村道	不明	不明	2.30	11.87	RC橋	橋梁（カルバート）	○					○				02	E													
6	A004		0000-0323-00-0006	丸内橋	ｼﾞｮｳﾅｲﾊｼ	市道市内農安坂道３号橋	小牧市内農安坂	市町村道	1981	42	2.00	2.87	PC橋	PCボックスカルバート			○				○			05	E													
7	A007		0000-0323-00-0002	鍛冶ヶ１号橋	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ(ｺﾞﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道大前西１号橋	小牧市内農安坂	市町村道	1972	52	2.00	6.75	RC橋	鉄筋コンクリート橋			○				○			04	E													
8	A008		0000-0323-00-0008	前橋	ﾏｴﾊﾞｼ	市道大前西６号橋	小牧市大前字前田	市町村道	1990	44	6.00	6.00	RC橋	鉄筋コンクリート橋	○				○					03	E													
9	A009		0000-0323-00-0009	東四橋②	ﾋｶｼﾖﾂﾊｼ	市道市内農安坂３５号橋	小牧市内農安坂	市町村道	1990	35	6.00	2.00	RC橋	鉄筋コンクリート橋					○				○	06	E													
10	A010		0000-0323-00-0010	東山橋	ﾋｶｼﾔﾏﾊｼ	市道市内農安坂１０号橋	小牧市内農安坂（大字東山）	市町村道	1973	51	3.40	6.01	RC橋	鋼鉄筋プレテンション中空床版					○				○	06	E													
11	A011		0000-0323-00-0020	市内道路８５号橋	ﾖﾅﾊﾞﾁﾊｼ(ﾋﾒﾉﾔﾏ)	市道西新町８号橋	小牧市大前字前田	市町村道	不明	不明	2.40	5.40	PC橋	橋梁（カルバート）	◎				◎					02	E													
12	A012		0000-0323-00-0011	鍛冶橋②	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ	市道鍛冶橋西７号橋	小牧鍛冶	市町村道	1978	46	11.30	6.00	PC橋	鋼鉄筋プレテンション中空床版					○				○	06	E													
13	A013		0000-0323-00-0012	東後３号橋	ﾋｶｼｳﾗﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道鍛冶橋西７号橋	小牧市内農安坂	市町村道	1981	42	3.00	7.11	RC橋	鉄筋コンクリート橋			○				○			04	E													
14	A014		0000-0323-00-0020	東後３５号橋	ﾋｶｼｳﾗﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道東後３５号橋	小牧市内農安坂	市町村道	不明	不明	2.37	5.40	PC橋	橋梁（カルバート）	◎				◎					02	E													
15	A015		0000-0323-00-0013	西橋内橋	ﾆｼﾊｼｳﾁﾊｼ	市道西橋内２号橋	小牧鍛冶	市町村道	1985	38	6.34	2.20	RC橋	桁橋			○				○			04	E													
16	A016		0000-0323-00-0014	市内道路４６号橋	ﾖﾅﾊﾞﾁﾊｼ(ﾋﾒﾉﾔﾏ)	市道東後４６号橋	小牧市内農安坂	市町村道	1978	46	3.00	5.40	RC橋	鉄筋コンクリート橋			○				○			04	E													
17	A017		0000-0323-00-0020	東後３６号橋	ﾋｶｼｳﾗﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道東後３６号橋	小牧市内農安坂	市町村道	不明	不明	2.30	2.40	PC橋	コンクリートボックス橋	◎				◎					02	E													
18	A018		0000-0323-00-0020	東後５１号橋	ﾋｶｼｳﾗﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道東後５１号橋	小牧市内農安坂	市町村道	不明	不明	2.30	2.00	PC橋	橋梁（カルバート）	◎				◎					02	E													
19	A019		0000-0323-00-0015	鍛冶１号橋	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道東後３１号橋	小牧鍛冶	市町村道	1995	35	7.00	2.20	RC橋	鉄筋コンクリート橋					○				○	06	E													
20	A020		0000-0323-00-0016	大前橋	ｵｵﾏｴﾊｼ	市道大前橋	小牧市之島	市町村道	1978	46	3.10	16.45	RC橋	鉄筋コンクリート橋			○				○			04	E													
21	A021		0000-0323-00-0017	市内道路５６号橋	ﾖﾅﾊﾞﾁﾊｼ(ﾋﾒﾉﾔﾏ)	市道大前橋２号橋	小牧市入鹿出新田	市町村道	1978	46	2.00	6.74	RC橋	鉄筋コンクリート橋			○				○			04	E													
22	A022		0000-0323-00-0018	新名橋１	ｼﾝﾒｲﾊｼ	市道中屋１号橋	小牧南西新田	市町村道	1997	27	3.00	6.01	RC橋	鉄筋コンクリート橋				○					○	06	E													
23	A023		0000-0323-00-0019	大門川３号橋	ﾀﾞｲﾓﾝｶﾜ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道小牧南東前地下部７号橋	小牧南東前	市町村道	1978	46	13.30	4.68	鋼橋	鋼鉄筋コンクリート合成桁橋				○				○		05	E								詳細調査	補修工				2.0
24	A024	○	0000-0323-00-0020	東四橋②	ﾋｶｼﾖﾂﾊｼ	市道北浦４１号橋	小牧北浦	市町村道	1998	35	10.00	6.00	PC橋	PC単純プレテンション中空床版	○				○					02	E													
25	A027	○	0000-0323-00-0020	北豊橋１号橋	ﾎｸﾎｳﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道北林地豊栄線橋	小牧北之島	市町村道	1995	32	10.00	6.00	PC橋	プレテンＰＣ単純ホロー桁橋			○				○			04	E													
26	A028		0000-0323-00-0020	北豊橋２号橋	ﾎｸﾎｳﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道西之島北豊橋７号橋	小牧北之島	市町村道	1997	27	12.10	6.00	PC橋	鋼鉄プレテンション中空床版橋					○				○	06	E													
27	A029		0000-0323-00-0021	鍛冶２号橋	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道村北２号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1978	46	2.00	2.23	PC橋	PCボックスカルバート			○				○			04	E													
28	A030		0000-0323-00-0022	村北２号橋	ﾑﾗｷﾀﾆｶﾞｳﾊｼ	市道村北２号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1978	46	2.00	2.23	RC橋	鉄筋コンクリート橋				○				○		05	E													
29	A031		0000-0323-00-0023	村北３号橋	ﾑﾗｷﾀﾆｶﾞｳﾊｼ	市道村北３号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1979	30	2.00	2.44	RC橋	鉄筋コンクリート橋				○				○		05	E													
30	A032		0000-0323-00-0024	西川３号橋	ﾆｼｶﾜ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道中屋３号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1978	46	2.00	2.03	鋼橋	鋼鉄コンクリート合成桁橋	○				○					02	E							詳細調査	補修工				2.0
31	A033		0000-0323-00-0025	西川４号橋	ﾆｼｶﾜ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道中屋５号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1981	43	5.00	2.00	鋼橋	鋼鉄コンクリート合成桁橋	○				○					02	E													
32	A034		0000-0323-00-0026	西川６号橋	ﾆｼｶﾜ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道中屋７号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1978	46	5.00	2.00	鋼橋	鋼鉄コンクリート合成桁橋	○				○					02	E							詳細調査	補修工				2.0
33	A035		0000-0323-00-0042	東市橋②	ﾋｶｼｲﾁﾊｼ	市道鍛冶２号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	不明	不明	2.00	4.00	PC橋	橋梁（カルバート）					○				○	06	E													
34	A036		0000-0323-00-0027	東後２６号橋	ﾋｶｼｳﾗﾊｼ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道東後２６号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1982	42	2.00	6.10	RC橋	鉄筋コンクリート橋			○				○			04	E													
35	A037		0000-0323-00-0028	市内道路１７号橋	ﾖﾅﾊﾞﾁﾊｼ(ﾋﾒﾉﾔﾏ)	市道入鹿出新田福田２号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1978	46	4.00	6.01	PC橋	PCボックスカルバート			○				○			04	E													
36	A038		0000-0323-00-0029	鍛冶橋	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ	市道本庄新２号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1995	39	6.40	6.00	RC橋	鉄筋橋			○				○			04	E													R20～0.5
37	A039		0000-0323-00-0030	鍛冶橋	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ	市道鍛冶３号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	不明	不明	2.44	3.65	PC橋	橋梁（カルバート）	○				○					02	E													
38	A040		0000-0323-00-0031	中出上橋	ﾅｶﾃﾞﾁﾊｼ	市道入鹿出新田中出１号橋	小牧入鹿出新田中出	市町村道	1978	46	7.00	6.07	RC橋	鉄筋コンクリート橋	○				○					02	E	17												R30～0.5
39	A041		0000-0323-00-0032	東川１号橋	ﾋｶｼｶﾜ(ﾀﾞﾝﾁｮｳ)	市道入鹿出新田中出２号橋	小牧入鹿出新田中出	市町村道	1992	42	5.00	2.00	鋼橋	鋼鉄コンクリート合成桁橋	○				○					03	E													
40	A042		0000-0323-00-0033	中出下橋	ﾅｶﾃﾞｼﾀﾊｼ	市道入鹿出新田中出３号橋	小牧入鹿出新田中出	市町村道	1990	44	2.00	3.32	RC橋	鉄筋コンクリート橋				○				○		05	E													
41	A043		0000-0323-00-0034	新名橋２	ｼﾝﾒｲﾊｼ	市道鍛冶７号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1978	46	4.00	6.00	RC橋	鉄筋コンクリート橋					○				○	06	E													
42	A044		0000-0323-00-0035	鍛冶橋	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ	市道入鹿出新田鍛冶３号橋	小牧入鹿出新田鍛冶	市町村道	1977	47	10.40	7.32	PC橋	鋼鉄プレテンション中空床版橋			○				○			04	E	1												R35～0
43	A045		0000-0323-00-0036	東市橋③	ﾋｶｼｲﾁﾊｼ	市道入鹿出新田鍛冶４号橋	小牧中中		不明	不明	6.20	2.00	鋼橋	鋼鉄コンクリート合成桁橋	○				○					02	E							詳細調査	補修工				2.0
44	A046		0000-0323-00-0037	鍛冶橋②	ｶｼﾞﾔｶﾞﾊｼ	市道入鹿出新田中出４号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	不明	不明	6.00	2.00	鋼橋	鋼鉄コンクリート合成桁橋	○					○				03	E													
45	A047		0000-0323-00-0038	大前橋②	ｵｵﾏｴﾊｼ	市道大前橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1992	31	5.40	6.00	PC橋	鋼鉄プレテンション中空床版				○					○	06	E													
46	A048		0000-0323-00-0039	新名橋３	ｼﾝﾒｲﾊｼ	市道入鹿出新田中出５号橋	小牧入鹿出新田	市町村道	1978	46	2.00	2.07	RC橋	鉄筋コンクリート橋				○				○		05	E													

5/12

※年次計画については、内容の変更等が生じた時点で随時更新するものとする。

※修繕の着手状況は年次計画に記載を行うこととする。

以上